

重点1 毎日の授業の充実

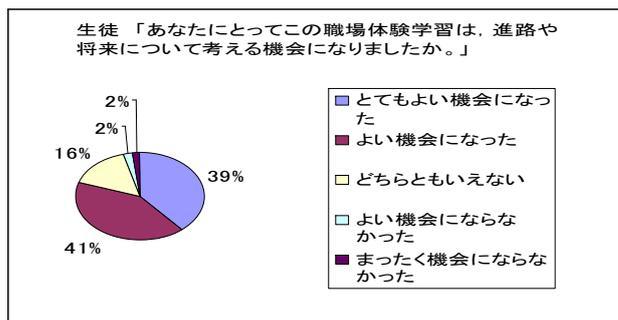
8B 体験活動（職場体験学習実施状況）

ねらい

各学校では、子どもたちが自らの意思と責任で進路を選択し、自分らしい生き方を実現していこうとする力を育成するため、さまざまな進路指導を行っています。中学校においては、総合的な学習の時間を中心に、地域にある事業所等の協力のもと、職場体験学習を行っています。子どもたちにとっては、学校だけでは学ぶことができない働くことの意義や役割、喜びや苦労などを実感できる貴重な体験であると同時に、事業所や地域の人々にとっても、地域の子どもたちを知るという機会となり、たいへん意義深いものとなっています。

現状と課題

○ 生徒アンケートより（調査人数：2,524人）



＜平成22年度実施状況＞

- 実施校数 22校
(H17年度以降、市内全中学校で実施)
- 体験生徒数
のべ8,147人
- 協力事業所
のべ994事業所
(H20-1,005・H21-946事業所)

○ 実施校の現状から

- ・平成13年度から始まったこの事業は、平成17年度から市内全中学校で実施されるようになりました。すべての中学校において2年生での実施が定着しています。
- ・体験学習期間については、3日間の実施が21校、2日間の実施が1校となり、一定の実施期間が定着してきました。また、事前学習やまとめの発表等の工夫もみられ、取組内容が充実してきています。
- ・毎年のべ約1,000事業所が、熱心に生徒を指導していただいています。また、体験した生徒たちも「進路や将来について考える機会となった」と回答する生徒の割合が約80%で、生徒にとって日常の授業では学ぶことのできない有意義な学習となっていることがうかがえます。
- ・体験活動の日数については、事業者の約80%の方をはじめ、生徒・教師ともに3日間がちょうどよいという回答の割合が高くなっています。

今後の方向性

- 職場体験学習は、キャリア教育の一環として、生徒に望ましい勤労観・職業観を育成し感性を磨き、豊かな人間性を培っていく貴重な体験です。本活動をキャリア教育の中核として位置づけ、組織的・系統的な取組の推進を図ります。
- 本活動の意義を再認識し、事業所の負担を考慮しつつ、さらに充実させる手だてや工夫を検討していきます。また、協力事業所の拡大にも力を入れていきます。
- 本活動は、地域と学校とをつなぐ役割も果たしており、地域との連携にも力を入れていきます。